

平成16年台風23号 20年メモリアル

防災への思い

参加
無料

平成16年台風23号から20年の節目となる本年は、当時の被災状況や被災当時からこれまでの取組を振り返ります。これから防災を考える機会として、役立てていただければと思います。

参加ご希望の方は、下記申込み先へご連絡ください（定員200名）。

旧城崎町

旧豊岡市

旧竹野町

旧日高町

旧出石町

旧但東町

2024年(令和6年)

日 時
10月5日(土)
13:00~15:30
< 開場 12:30 >

会 場
**豊岡市民
プラザ
(アイティ7階)**

プログラム

| | |
|-------------------------|--|
| 13:00 開会 | 関貫 久仁郎 豊岡市長 |
| 13:05 挨拶 | 常山 修治 国土交通省 近畿地方整備局 河川部長 |
| 13:10 基調講演 | 「これまでの防災を振り返り、これからの防災を考える ～平成16年台風23号を語り継ぐ～」 片田 敏孝 東京大学大学院 情報学環 特任教授 |
| 14:00 発表 | 「円山川における流域治水に向けて」 荒谷 芳博 豊岡河川国道事務所長 |
| 14:10 休憩 | |
| 14:15 発表 (ラジオドキュメント) | 「10月20日を忘れない」 第71回NHK全国高校放送コンテスト 全国大会 制作奨励賞 受賞作品 近畿大学附属豊岡高等学校 放送部 |
| 14:30 パネル ディスカッション | 「台風23号から学んだこと、 そして、これからの防災」 |
| 15:30 閉会 | 多田 欣也 兵庫県但馬県民局長 |

当日のライブ配信

下記の URL または二次元バーコードからアクセスしてください。

会場での配布資料等もご覧いただけます。

<http://toyooka.bousaiseminar.jp>

※限定公開のため、このURLからしかアクセスできません。



共 催
申込み・問合せ

豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

豊岡市 危機管理部 危機管理課 TEL 23-1111 (代表) / FAX 24-5932 / E-mail bousai@city.toyooka.lg.jp

登壇者



基調講演・コーディネーター

片田 敏孝

KATADA
Toshitaka

東京大学大学院情報学環
特任教授

専門は災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。



発表

荒谷 芳博

ARATANI
Yoshihiro

豊岡河川国道事務所 所長

令和5年4月より現職。大阪府出身。

豊岡河川国道事務所では、平成16年台風23号と同規模の水害に対する再度災害の軽減を目的に、これまで河道掘削、堤防整備、内水対策などを重点的に実施。

引き続き、安全・安心のために関係者と協働して流域治水に取り組む。



定員200名

参加ご希望の方は、申込み先まで、氏名・住所・連絡先(電話番号等)を添えてお申し込みください。

- 会場参加の申し込みは、定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 当日に会場の席に余裕がある場合は、事前申し込みされていない方もご参加可能です。
- お電話での申し込みも可能です。



メール申込用



発表(ラジオドキュメント)

近畿大学附属豊岡高等学校 放送部(放送班)

校内にとどまらず、地域イベントの司会、地元コミュニティFM出演などを通して、裏方として学校や地域を盛り上げている。

アナウンスや番組制作のスキルも上げるためにコンテストに挑戦し続けている。ラジオドキュメント「10月20日を忘れない」は、第71回NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会で優秀賞を受賞して県代表となり、全国大会では準決勝に進出して制作奨励賞を受賞した。



パネリスト

井川 貴史

IKAWA
Takashi

昭和58年4月 建設省近畿地方建設局(現国土交通省近畿地方整備局)に入省。令和5年に近畿地方整備局を退職し、現在は、一般社団法人近畿建設協会にて、官民連携に関わるプロジェクトに従事。

台風23号時には、豊岡河川国道事務所で建設監督官として勤務。



パネリスト

中島 幾良

NAKASHIMA
Ikuyoshi

平成25年4月から平成29年3月まで豊岡市消防本部消防長を歴任。台風23号時には、豊岡消防署 救急第2係長として災害対応に従事。

現在は、豊岡市三江コミュニティ会長として、これまでの経験を活かしながら、地域防災の推進にもあたっている。

平成16年台風23号

2004年10月20日13時頃、大型の強い勢力で高知県に上陸した後、近畿、東海、関東地方と進み、全国に被害を及ぼし、死者・行方不明者が100人近くに達する甚大な被害となった。

豊岡市では、円山川と出石川が氾濫し、浸水害が発生したほか、土砂災害も多数発生し、7名の尊い命が失われた。